

記者発表資料
平成21年3月11日
こども青少年局青少年育成課長
泉 誠 電話 671-2297
(財)横浜市青少年育成協会
はまぎん こども宇宙科学館副館長
越山 正澄 電話 832-6355

横浜市政記者、横浜テレビ・ラジオ記者 各位

横浜開港150周年・はまぎん こども宇宙科学館開館25周年・世界天文年 記念事業

プラネタリウム新番組 『横浜から宇宙へ』 上映開始！！

～ 創造性豊かな青少年を育むため

科学体験の普及を図ります～

横浜開港 150 周年及びはまぎん こども宇宙科学館開館 25 周年を契機とした今回のプラネタリウム新番組「横浜から宇宙へ」は、150 年前の天文現象（磁気嵐）や皆既日食などをわかりやすく解説した内容となっています。上映にあたっては、青少年の皆さんが宇宙や科学への興味を持つきっかけとなることを期待しています。

この上映を皮切りに、今後は、横浜サイエンスフロンティア高校（所管 教育委員会事務局、横浜開港 150 周年に合わせて平成 21 年 4 月開校）とはまぎん こども宇宙科学館が連携を図り、青少年の科学教室や天文教室などの様々な体験プログラムを展開していくことで、創造性豊かな青少年を育むための科学体験の普及を図っていきます。

プラネタリウム番組「横浜から宇宙へ」が、青少年の健全育成のために、こうした科学体験の普及を目指し、新たな展開への布石となるよう、より多くの青少年の皆さんにご覧いただき、驚きと感動を体験していただきたいと考えています。

1 番組上映について

(1) 会場

はまぎん こども宇宙科学館 宇宙劇場（プラネタリウム）
（磯子区 JR 京浜東北・根岸線 洋光台駅下車 徒歩 3 分）

(2) 上映期間

平成 21 年 4 月 25 日（土）から平成 22 年 3 月 31 日（水）まで
上映回数は、日によって異なります。

(3) 上映時間

約 45 分

職員による上映当日の星座解説 （約 20 分）
プラネタリウム番組「横浜から宇宙へ」（約 25 分）



番組制作趣旨

2009（平成 21）年は、横浜開港 150 周年の年で、はまぎん こども宇宙科学館も開館 25 周年を迎える記念すべき年です。

そして、2009（平成 21）年は、イタリアの天文学者ガリレオ・ガリレイが、はじめて望遠鏡を夜空に向け宇宙への扉を開いた 1609 年からちょうど 400 年。国際連合、ユネスコ、国際天文学連合は、この記念すべき 2009（平成 21）年を「世界天文年」と決めました。

また、今年 7 月 22 日には鹿児島県のトカラ列島などで、21 世紀では最長の皆既日食が見られます。皆既日食が国内で起こるのは 46 年ぶりで、全国各地でも好条件の部分日食（横浜では、9 時 55 分から欠け始め 11 時 13 分頃、太陽の直径に対して最大 4 分の 3 まで欠け、12 時 30 分頃終了）となります。

そこで、はまぎん こども宇宙科学館では、これらの内容や天体現象等をわかりやすく解説したプラネタリウム新番組を制作しています。

裏面あり

2 記念式典及び青少年公募試写会の概要

(1) 記念式典

- ア 日時 平成 21 年 4 月 24 日 (金) 17 時から 17 時 45 分まで
- イ 会場 はまぎん こども宇宙科学館 宇宙劇場 (プラネタリウム)
- ウ 内容 (ア) 開会 (約 15 分)
【主催者挨拶(予定)】 横浜市長、(財)横浜市青少年育成協会理事長
【来賓挨拶(予定)】 横浜市会議長、横浜銀行頭取
(イ) プラネタリウム番組「横浜から宇宙へ」試写 (約 25 分)
(ウ) 閉会
はまぎん こども宇宙科学館長
- エ 出席者 300 人
(予定)
- 【主催者】 横浜市長、こども青少年局長、(財)横浜市青少年育成協会理事長、はまぎんこども宇宙科学館長
- 【来賓等】 市会正・副議長、市会議員(常任・特別委員会、地元選出)、地元選出県議会議員・国会議員、横浜銀行関係者、青少年育成団体関係者、地元関係者、学校関係者、報道関係者 等

(2) 青少年公募試写会(無料)

創造性豊かな青少年を育むための科学体験の普及を図るため、上映開始前に、青少年を対象とした公募試写会を実施します。是非、ご応募ください!

青少年公募試写会・募集内容

- ア 日時 平成 21 年 4 月 24 日 (金) 19 時から 19 時 45 分まで
- イ 会場 はまぎん こども宇宙科学館 宇宙劇場 (プラネタリウム)
- ウ 内容 (ア) 職員による上映当日の星座解説 (約 20 分)
(イ) プラネタリウム番組「横浜から宇宙へ」(約 25 分)
- エ 募集人数・応募対象 300 人 応募者多数の場合は抽選
小学生と中学生及びその保護者を応募対象とします。
(小学生は必ず保護者が同伴してください。)
- オ 申込方法 官製往復ハガキに、「保護者または代表者の氏名・住所・電話番号」と、「参加希望者の氏名・4 月時点の学年」を記載し、〒235-0045 磯子区洋光台 5-2-1 はまぎんこども宇宙科学館「試写会係」までお送りください。
ハガキ 1 枚につき 5 人(保護者または代表者含む)までお申し込みいただけます。
- カ 募集期間 平成 21 年 3 月 16 日 (月) から 4 月 15 日 (水)(必着)まで

3 取材受付について

ぜひ、取材にお越しく下さい!

なお、「記念式典」及び「青少年公募試写会」(平成 21 年 4 月 24 日)の取材は可能ですが、青少年公募試写会につきましては、冒頭の頭撮りのみとします。

取材を希望される場合は、4 月 23 日 (木) 16 時までに、社名及び記者氏名を、はまぎんこども宇宙科学館 (電話 045-832-1166) 宛、ご連絡くださいますようお願いいたします。

当日は、直接会場受付へお越しください。

お車での来場はご遠慮ください。

【プラネタリウム番組「横浜から宇宙へ」の概要】

ヘリコプターに乗って、現在の横浜港を眺める兄妹。その時、妹が手にしていた本を見ていて、150年前、宇宙で大事件が起こっていたことに気がきます。

そして・・・、この兄妹を案内役として、今年7月に起こる「皆既日食」や、2012（平成24）年の「金環日食」、「金星の太陽面通過」を紹介しながら、太陽と地球の関係や太陽系外惑星の話など、宇宙のふしぎ満載の内容をお届けします。

また、地球環境という問題を身近な私たちの街、横浜から考えていけるものとなっています。



～番組の流れ～

- | | |
|---|-----------|
| 1 横浜の港や夜空の150年前と現在の違いについて | 【導入】(空撮) |
| 2 150年前の主な天文現象について | 【過去】 |
| 3 太陽について | 【最新研究成果等】 |
| 4 2009年の皆既日食、
2012年の金環日食及び金星の太陽面通過について | 【現在】 |
| 5 太陽系外惑星について | 【最新情報】 |
| 6 横浜から宇宙へ | 【未来】 |



～皆既日食～ 2008年8月1日・皆既日食・中国撮影 ©2008Keio DMC/GOTO

【横浜サイエンスフロンティア高校と連携した取組について】

横浜サイエンスフロンティア高校とはまぎんこども宇宙科学館が連携して事業を展開し、理科教育、科学教育の振興を図り、理科好きの小・中学生を育成していきます。

平成21年度 計画案

科学教室（8月、11月、1～2月）

横浜サイエンスフロンティア高校とはまぎんこども宇宙科学館の両者を活用した科学教室や施設見学会を実施

天文教室プログラム（12月）

- ・ はまぎんこども宇宙科学館の宇宙劇場（プラネタリウム）で天文教室
- ・ 横浜サイエンスフロンティア高校の天文観測ドームで実際に天体を観測

【はまぎん こども宇宙科学館・施設概要】

案内図や利用案内等
の詳細は、別添の
「はまぎん こども宇宙
科学館 リーフレット」
をご覧ください。

所在地 横浜市磯子区洋光台 5-2-1 電話 045-832-1166
* JR 京浜東北・根岸線 洋光台駅下車 徒歩3 分

施設名称 横浜こども科学館 (URL <http://www.ysc.go.jp/>)

愛称 **はまぎん こども宇宙科学館**
平成 20 年 4 月から横浜市の文化施設としては初のネーミングライツを導入

ネーミングライツについて

ネーミングライツスポンサー：株式会社 横浜銀行

横浜市にとっては、科学館の公共的機能の維持・向上、経営の長期安定化を図ることであり、また、株式会社 横浜銀行にとっては、「CSR 活動への取り組みに関する基本的な考え方」に合致するとともに、科学館の命名権を通じた協働により、次世代を担う子どもたちにとって、宇宙や科学への興味や理解を深めることを目的として導入しています。

設置者 横浜市

設置年月日 昭和 59 (1984) 年 5 月 5 日

指定管理者 財団法人横浜市青少年育成協会
理事長 川本守彦 (川本工業株式会社代表取締役社長)
館長 和田昭允 (東京大学名誉教授)

施設構造 S R C (鉄骨鉄筋コンクリート) 地下 2 階地上 5 階建 (高さ約 20m)
敷地面積：6,000.00 m²
建築面積：2,185.11 m²
延床面積：6,484.26 m²

施設内容 宇宙劇場：直径 23 メートル・定員 300 人のドームで毎日 2 種類 (一般・ちびっこ) のプラネタリウム番組を投影。
平成 19 年 3 月に新たに導入した全天周デジタル映像投影装置は、ドームスクリーン全体に映像を映し出し、まるで包み込まれるような感覚で迫力満点。
展示室：科学原理を応用した展示物や遊具を配置し、子どもたちが操作・体験を通して宇宙の不思議や科学のおもしろさを楽しく学習できます。

入館料等

料 金		個 人		
		大 人	小・中学生	4 歳以上
入館料		400 円	200 円	-
宇宙劇場入場料	プラネタリウム	600 円	300 円	300 円
	ちびっこプラネタリウム	600 円	300 円	300 円

宇宙劇場のみご利用の場合も、入館料が必要です。
毎週土曜日は、高校生以下の入館料は無料です。